

## 第5回日吉津小学校運営協議会会議録

- 日 時 令和5年3月2日(木) 午後7時30分～午後8時40分
- 場 所 日吉津小学校子ども図書館「まなびルーム」
- 出席者 井田博之(教育長)  
会長：山根直樹(社会教育委員)  
副会長：井藤健志(地域代表)  
委員：中原昌之(P T A副会長) 田辺昌宏(地域代表)、  
吉崎勇(学校支援ボランティア)、兼本修二(学校支援ボランティア)  
石 敬子(学校支援ボランティア)、山路由紀子(保育所所長)  
太田敦弘(小学校校長)、谷口俊則(小学校教頭)、横田威開(教育次長)
- 欠席者 伊藤真由(P T A会長)、立脇賢二(学校支援ボランティア)  
長谷徳子(地域コーディネーター)

### 1. 開会 午後7時30分から

○司会進行 横田教育次長

第5回日吉津小学校運営協議会を始めます。

### 2. あいさつ

○山根会長あいさつ

こんばんは。お忙しところお集まりいただきましてありがとうございます。今日は最後の協議会となります。学校だけの取組ではなく地域コミュニティで取組んでいくということで、子ども達がどんなふう to 育っていったらいいかなと話し合ったりする大切な会でした。前回予定していた昔遊びもコロナ禍で中止になったり、なかなか子ども達とふれあうことが出来ませんでした。次年度はちょっと改善されて、触れ合うことができると思いますが、みなさんと協力して子どもたちが健やかに成長できるように、この学校運営協議会も取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

### 議題

#### (1) 令和5年度日吉津小学校運営方針の承認について

○進行 山根会長

議題1、令和5年度日吉津小学校運営方針の承認について説明をお願いします。

○この学校運営協議会がスタートしてから学校だけで考えるのではなくて、地域それから保護者のみなさまにも来年度の方針について承認を得たうえで、職員にも発信して進めていくという流れをとっております。それでは、令和5年度日吉津小学校運営方針について、太田校長先生お願いします。

<太田敦弘校長（説明）>

○みなさんこんばんは。お忙しいところ、お疲れのところお集まりいただきましてありがとうございます。令和5年度日吉津小学校運営方針について説明します。

令和5年度各種行事等の開催については、今後の感染状況がどうなるのかわからないところもありますが、保護者や地域のみなさんに公開していく方向です。コロナ禍でコミュニケーション不足ということを学校の方も痛感しております。保護者のみなさんや地域のみなさんと意思の疎通ができていく部分も多くありますが、参観日や懇談には来ていただいておりますので、少しずつコミュニケーションをとることが出来ています。これからもっと増やして保護者のみなさんや地域のみなさんと顔を合わせながら学校教育を進めていけたらと思っていますところ。

感染予防対策としては、3密を避ける。手洗い、消毒をこまめにする。マスクをつけるなど基本的な感染予防対策はしっかりしながらも国や県の動向も受けながら対応していきたいと思っています。鳥取県の方針として、学校及び保育所等の卒業式・卒園式におけるマスクの着用の考え方ということで、今年度の卒業式では、卒業生は入場から退場までマスクをはずす、歌についても十分な距離をとってマスクなしで歌う予定です。保護者、教職員についてはマスクを着ける。ただ祝辞等ではマスクをはずすよう考えています。なお、卒業生は基本的にはマスクを取りますが、強制するものではなく、子ども達の気持ちを大事にしたいと思っています。

めざす児童の姿です。夢見る子、自ら学ぶ子、ともに生きる子、やりぬく子。あわせてひえづのあたりまえということで、あいさつへんじ、だまってそうじ、くつそろえを設定しています。あえて日吉津小学校のあたりまえではなく、ひえづのあたりまえとすることによって、日吉津村あげてあたりまえにできるようにしたいとの思いが込められています。

めざす児童の姿を実現するために、令和5年度の学校教育目標を設定しました。「心はずませなかまとともに挑みつづける児童の育成」としています。子ども達が学習内容に興味をもって友達と切磋琢磨しながら学んでいく子どもの姿、学校生活の改善に意欲的に取組んで、仲間と協力して課題を解決していく子、そういう姿を想定しているところです。

一般的には、知・徳・体で教育活動を整理していますが、日吉津小学校では「夢」を加えることにより、未来の村づくりを担う子どもを育てたいと考えています。そのため、外国語、ICT、体験学習などに力を入れています。日吉津小学校の特色として、全学年30人学級であるとか、村の学習支援員4名、ぷらっと（教育支援センター）の設置、それから自校給食、芝生化された運動場、全教室エアコン・空気清浄機完備、大山セカンドスクールで3泊4日の5年生の活動、それからALTの常駐、スクールソーシャルワーカーの常駐、ICT支援員、タブレットの使い方であるとか、校内のネットワークの整備等にも力をかしてござっております。コロナ禍で中止になったものが多いということがありましたので、ひえづ113チャンネルで、できるだけ子どもたちの活動をだしてもらっています。全ての活動において、日吉津村あげて協力していただいているなど感じているところです。教科の指導という面では、本年度同様、来年度も算数を中心とした授業改善に取り組めます。特別活動による児童の自発的・自治的活動を大切に、子ども達が自分で決める場面を増やしていきます。日吉津の子ども達のよさは、

明るく素直、与えられたことには真面目に取り組めます。先言後礼であいさつをしてくれます。決まりを守ろうとする。日吉津のことをよく知っている。また興味を持っている。子ども達の課題としては、指示待ち傾向で、思いがあってもどのように行動したらよいかの判断が苦手だなと感じています。学校教育の課題として、個に応じた学びをどのように保障していくかという点があります。個に応じた学びのためには、一人ひとりに合った学びが実現できることが必要です。そして、自分に合った学びを自力で計画・実行できる子どもを育てることも必要です。現在、日吉津村出身の教員というのは日吉津小学校に一人もいません。教員を風の人と呼ぶ人がいます。それに対して地域の方は土の人とか、地の人と呼ばれています。教員を風の人というのは、種を運び、肥料を運び、雲を運ぶ人である。それに対して地域の方は、土の人、種を育て、根を守り、肥沃な土となり、作物を実らせる人。こう考えると教職員と地域の方が協力してこそ、子ども達をよりよく育てることができるのではないかなと感じています。

令和5年度の取り組みですが、10月6日に西伯郡小学校教育研究大会が日吉津小学校であります。算数の取り組みについて発表する予定です。令和6年度には、箕蚊屋中学校区人権教育研究会の発表校に指定されています。これは学級活動を中心とした取り組みを進めていきます。今社会の中では、インターネットの依存であるとか、個人情報漏洩の問題、多様性の理解という面で、国際的に取り残されつつある社会の問題など、様々は教育課題の解決が求められる中、学校だけでは解決できない状況にあります。学校と家庭、地域がそれぞれの役割を果たすことで、解決できていくところもたくさんあると思います。多様性が大切にされなければならない社会において、様々な立場の方が学校に関わっていただき、学校教育がさらに豊かになるよう協力をお願いしたいと思います。これからも学校、家庭、地域が連携・協力して、未来を拓く日吉津の子を育てていきましょう。

グランドデザインをお配りしています。一番下のところに学校教育の基本となる「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」、「何ができるようになるか」3つのカテゴリーで書いています。こういう子どもたちの学びを保障するためには、一人一人のニーズに合った教育支援体制の充実と書いていますが、個に合った学びということで、一人一人を大事にしていくということが求められています。今まではクラス全員という考え方でしたが、これからは一人一人に合った教育が大切です。あわせて知・徳・体・夢、まなびづくり、なかまづくり、こころ体づくり、みらいづくりこの四本柱、それからひえづのあたりまえ、あいさつへんじ、だまって掃除、くつそろえこの3点を基にめざす児童の姿を実現するために、学校教育目標である「心はずませなかまとともに挑みつづける児童の育成」を目指して、学校教育を進めていきたいと思っています。

○校長先生からの説明が終わりました。来年度の学校の運営、経営していく方針について説明をいただきました。皆さんの方からの質問はありませんでしょうか。

○令和5年度で日吉津小学校が150周年ということを聞いています。それに関連した行事であるとか何か考えられていますか。

○今のところ決まっているのは、5月8日に100周年の時に埋めたタイムカプセルを

あけるよう予定しています。

○先ほど校長先生の方から一人一人のニーズに合った教育支援体制の充実と説明されましたが、具体的にはどのような指導方法ですか。その子がどういう性格かをつかむのがなかなか大変だと思いますけど。もし具体的なものがあればお聞かせください。

○今、ご意見いただいたところが一番重要なところで、特性とよく言われるのですが、例えば、じっとしてられないお子さんであるとか、話を聞くよりも目で見た方が、頭に入るお子さんであるとか、いろいろなお子さんがいらっしゃるの、一人一人の子どもの良さであるとか、苦手なところをしっかりと把握して、その子たちに合ったもしくは、集団にあった教育ができるのではないかなと、それでニーズに合った教育支援体制の充実ということで書いています。今日もスクールカウンセラーさんに来ていただいたんですが、家庭支援ということでは、スクールソーシャルワーカーであるとか、医療の方では、病院の先生にお世話になったりとか、子ども達の特性について教えていただくということもしています。スクリーニング会議というのは、たくさん子ども達の中から、支援が必要な子どもたちを探り出すような会議、それからケース会議というのは、個々の問題について担当者が集まって、今後対応をどうしていこうかというような話し合いをするのがケース会議といいます。年度初めであるとか学期初めにスクリーニング会議をして、支援が必要な子どもたちを掘り起こして、それから何か問題があるとケース会議をして具体的にどんな支援をしていくのかということをお話し合うのがケース会議です。

○なかなか子ども一人一人の性格を見分けるのは難しいと思ひまして、そののへんよろしくをお願いします。

○令和2年度に子ども達一人一人にタブレット端末、日吉津小学校では具体的にはiPadを全員が持っている状態です。その中で、iPadを使って勉強するソフトというのいろいろな種類を組んでいて、例えば学びタイムというみんなが振り返りをする時間に、それを見ながら自分のペースで進める、そういうことが活用できるようしている。ただ、よりよいものがあるのではないかなということで、来年度は、学びポケットというシステムの中にあるソフトを使っていこうと、ちょっと専門的な言葉になっていくんですが、AI機能というものが、どんどん発展していて、この子はこの分野が苦手だよということを見抜いてくれるようなシステムが、iPadの中に組み込まれている状態にありますので、そういった先端技術は駆使をしながら頼れるところは頼って、苦手なところを把握しながら指導していこうというものを整えつつあります。

○コロナで長期休んでおられるお子さんに対して、タブレットを持って帰ってもらって、学校の様子を映しながらリモートで学習している子が何人かいます。そういうことにも活用しています。

○最近子どもの自殺も増えてきている状況もあり、中には表に出さない子もあるという

ことで、そのあたりも見分けてもらって指導していただければと思います。

○算数に力を入れるとありました。研究発表が算数ということですよ、そのためにということですか、それとも元々ということですか。

○特に算数の力が弱いからということではなく、もっともっと力をつけていってほしいということからです。

○今、校長先生の方から来年度の日吉津小学校運営方針について説明がありましたが、委員の皆さんからの承認についてお諮りいたします。承認いただける方は拍手をお願いします。

<拍手多数>

○議題1 令和5年度日吉津小学校運営方針については承認されました。

## (2) 令和5年度の取組について

○令和5年度の取組について事務局から説明をお願いします。

○令和3年度には子どもたちのかけ算九九を聞きました。地域のメンバーでも子どもたちの学びに入って一緒に協力できることもあるなということのきっかけをつかましていたところでした。令和4年度はできるだけ地域に広げていければなということを目指していました。令和4年度というのは、コロナの感染状況が収まるということがないまま、ずっと一年間きたものですから、誰が来るかわからない状況で来たら来てねということは学校としてもリスクが高いということで、それで学校運営協議会委員と1年生との昔遊び交流を計画しました。来年度は、当初目標にしていたように、このメンバーだけでなく、できるところで、少しずつでも学校に協力してくださる地域の方を増やしたいなというふうに考えております。

子ども達の体験活動、カルチャー土曜塾であったり、農業体験活動であったり、いろいろ声掛けをしている中で、実はこれまでは来てくださらなかった方が何名かボランティアの方が増えております。例えば釣り大会に手伝うよと言ってくださっている地域の方が何人もおられます。それからカルチャー土曜塾の定期コースに来てくださっている地域ボランティアの数が増えています。とてもありがたく思っています。来年度も来るよと言ってくださっており、日吉津ならではだと喜んでおります。今のこのことが地域の方に広まっていけばいいなと期待しているところです。

令和5年度の取組については、具体的なものは今お示しできませんが、そういう方向性で考えていきたいということだけ伝えたいと思います。これについて、皆さんの方からお意見があればお願いします。

<「特になし」>

○また、令和5年度の委員さんと協議をしながら進めていこうと思います。

## (3) その他

○事務局の方からは特にありませんが、皆さま方から何かありましたらお願いします。

現時点で分かっていることで、来年度、コミスクの全国大会が米子のコンベンションセンターを会場で開かれます。全国からコミュニティ・スクールについて学びたい人が集まってきます。全国でコミスクをどのようにやっていくかということで注目をあびていることなので多くの方が集まることが想定されています。主催は南部町です。全国大会があるということを知っておいてほしいと思います。

○議題については、全て終わりましたので、最後の挨拶を教育長にお願いします。

○井田教育長あいさつ

皆さんお疲れ様でした。日吉津の子ども達は地域の人が好きだ。1月に開催した「二十歳を祝う会」のアンケートの中で、日吉津の良さは人が優しい。村民さんが優しい。日吉津村の人達が好きだ。とアンケートで返ってきます。素直に育っていてとてもいいことだと思っています。それを維持していくために、子ども達と住民の皆さんが交流するということはとても大切なことだと思っています。この学校運営協議会が子ども達と直接交流したり、学校運営協議会が何か主催して子ども達と一緒に活動するとか、学校運営協議会が何か村民あげてこんなことに取り組みましようと呼びかけするとか、いろいろなことが考えられると思いますが、そういう活動により一層学校運営協議会が発展していったらいいなと思っています。そしてこの学校運営協議会の活動が、日吉津村の発展に貢献していけたらいいなと思っています。一緒に取組みができますようお願いして挨拶といたします。

○先日、学校アンケートの結果が学校だよりで公表されました。様々な質問項目があります。教師との関りであったり、学校の取組であったり、質問項目がたくさんある中で、95%と肯定的な意見が最も多かった質問が、学校は地域の良さを生かした教育をしている。地域の力を学校の教育に取り入れているという質問項目がとても高い数字が出ていました。この学校運営協議会、コミュニティ・スクールの活動も周知はまだまだこれからだなと思うところはありますが、地域の皆さんがお子さんの成長に関わっているということを強く保護者の皆さんにも感じていただいているんだなと感じました。今後も子ども達の教育を支えていきたいなと思っていますので力をかしてください。

○これで、令和4年度の学校運営協議会を終わります。ありがとうございました。

午後8時25分